

平成22年6月定例会

議案説明資料
予算に関する説明書
(平成22年度補正予算関係)

企業局

平成22年6月定例会議案説明資料目次

企 業 局

【予算関係】

議案番号	件 名	課名等	頁
議案第 2 号	平成22年度鳥取県営埋立事業会計補正予算	(総括表) 経営企画課	1
	1. 補正予算説明資料 (平成22年度鳥取県営埋立事業会計予算実施計画)		2
	2. 平成22年度鳥取県営埋立事業会計資金計画		4
	3. 平成22年度鳥取県営埋立事業予定損益計算書		5
	4. 平成22年度鳥取県営埋立事業予定貸借対照表		6

【予算関係以外】

(議案)

議案番号	件 名	課名等	頁
議案第 9 号	鳥取県みなと温泉館の管理に関する条例の廃止について	経営企画課	10

(報告)

報告番号	件 名	課名等	頁
報告第 7 号	平成21年度鳥取県営電気事業会計継続費繰越計算書について	経営企画課	12
報告第 8 号	平成21年度鳥取県営電気事業会計予算繰越計算書について	経営企画課	13
報告第 9 号	平成21年度鳥取県営工業用水道事業会計予算繰越計算書について	経営企画課	15

補正予算説明資料総括表

企業局(単位:千円)

会計名	区分	収 入			支 出		
		補正前の額	補正額	計	補正前の額	補正額	計
埋立事業 会計	収益的収支	400,362	0	400,362	329,595	0	329,595
	資本的収支	0	0	0	68,874	0	68,874
	計	400,362	0	400,362	398,469	0	398,469
合 計		400,362	0	400,362	398,469	0	398,469

説 明

埋立事業会計

○ 地方公営企業法施行令第17条第1項の規定に基づき、予算内容に重要な資産を処分することを追加する。

- ・ 重要な資産の処分(みなと温泉館土地・建物)

平成22年度鳥取県営埋立事業会計補正予算説明資料

議案第2号

企業局(単位:千円)

区 分		補正前の額	補 正 額	計	説 明
収 益 的 収 入 支 出	埋立事業収益	400,362	0	400,362	変更なし
	営業収益	354,797	0	354,797	
	土地売却収益	267,805	0	267,805	
	その他営業収益	86,992	0	86,992	
	営業外収益	45,565	0	45,565	
	埋立事業費	329,595	0	329,595	
	営業費用	301,885	0	301,885	
	土地売却原価	234,324	0	234,324	
	一般管理費	34,457	0	34,457	
	企業誘致費	20,224	0	20,224	
附帯施設運営費	12,880	0	12,880		
営業外費用	27,710	0	27,710		
差 引	70,767	0	70,767		
資 本 的 収 入 支 出	資本的収入	0	0	0	変更なし
	固定資産売却代金	0	0	0	
	資本的支出	68,874	0	68,874	
	建設改良費	8,874	0	8,874	
	建設仮勘定	8,874	0	8,874	
	他会計借入金償還金	60,000	0	60,000	
	差 引	△ 68,874	0	△ 68,874	

注) 1 収益的収入及び支出の予定額、資本的収入及び支出の予定額は、変更なし。

2 予算内容に重要な資産を処分することを追加する。

種 類	名 称	数 量
土 地	みなと温泉館敷地 境港市竹内団地255番5	3,393.65平方メートル
土 地	みなと温泉館敷地(泉源部分) 境港市竹内団地279番	626.19平方メートル
建 物	みなと温泉館 境港市竹内団地255番5	444.91平方メートル

平成22年度 鳥取県営埋立事業会計補正予算説明資料

款 資本的収入
項 固定資産売却代金

経営企画課 (内線7445)
(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
みなと温泉館の売却	0	0	0					
補正に係る主な業務内容	みなと温泉館の民間譲渡による利用者サービスの向上							
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明

1 事業目的

境港市の夢みなと公園にあるみなと温泉館は、平成10年の本格オープンから12年が経過し、現在の指定管理期間の満了(平成23年3月31日)に併せて民間に売却譲渡することにより、経営ノウハウを活かした施設管理の効率化、サービスの向上、及び更なる利用の促進を図る。

2 事業概要

(1) 経緯

- みなと温泉館は、平成10年5月のリニューアルオープン以来、100万人以上の利用客があり、公共の施設として一定の役割を果たしてきたところ。
- 平成17年度からの指定管理者の導入により利用状況は改善され、公衆温泉浴場という施設の性格上、民間企業による弾力的かつ柔軟性のあるサービスの向上と管理運営が期待できること。
- 平成25年度には機械設備の耐用年数が到来することから、維持修繕費が高むことが見込まれ、施設管理の効率化等が不可欠なこと。

(2) 売却物件の概要

みなと温泉館の土地、建物・設備、温泉権を一括して売却する。

区分	数 量	簿 価(千円)	売却予定価格(千円)	摘 要
土地	温泉館敷地 3,393.65㎡	54,482	42,990	売却予定価格は不動産鑑定意見書から算定。 建物・設備価格は消費税込み。
	泉源部分 626.19㎡			
建物・設備	温泉館 420.75㎡	153,453	54,644	
	ボイラー室 24.16㎡			
合 計		207,935	97,634	

(3) 売却候補者及び売却金額

〈売却候補者〉 米子市上福原4丁目5番31号 株式会社かいけ 代表取締役 新開雄一
〈売却金額〉 120,000千円(消費税込み)

(4) 売却候補者の選定方法

- 公募により売却先を募集(期間:平成22年3月19日~4月23日)し、外部5名で構成する選定委員会において、当委員会で定めた選定基準に基づき、事業計画の評価と購入価格の評価の合計点の最も高い応募者を売却候補者に選定する。
- 今回の応募は1者であったが、5月10日(月)に選定委員会で面接審査等を行った結果、リニューアルや家族風呂の併設など事業計画も評価され、売却候補者として選定された。

(5) 施設譲渡年月日

平成23年4月1日

〔施設の処分日は、施設譲渡日(平成23年4月1日)であるため、22年度中に納入される
売却代金は「前受金」で処理を行い、収入支出は平成23年度予算で計上・執行する。〕

3 補正する予算の内容

埋立事業会計予算において、重要な資産を処分することを予算内容に追加する。

種 類	名 称	数 量	処分の態様
土地	みなと温泉館敷地 境港市竹内団地255番5	3,393.65平方メートル	売払い
土地	みなと温泉館敷地(泉源部分) 境港市竹内団地279番	626.19平方メートル	売払い
建 物	みなと温泉館 境港市竹内団地255番5	444.91平方メートル	売払い

4 これまでの取組状況・改善点

温浴施設事業者及び関係機関の意見を聞きながら、公募内容や選定基準の検討を行った。

平成22年度鳥取県営埋立事業会計資金計画

区 分	既決予定額	補正後予定額	増 減
	千円	千円	千円
受 入 資 金	578,823	698,823	120,000
1 営 業 収 益	354,797	354,797	0
2 営 業 外 収 益	43,764	43,764	0
3 長 期 借 入 金	0	0	0
4 繰 越 現 金 預 金	170,510	170,510	0
5 前 年 度 未 収 入 金	1,801	1,801	0
6 預 り 金	120	120	0
7 契 約 保 証 金	7,831	7,831	0
8 前 受 金	0	120,000	120,000
支 払 資 金	149,908	149,908	0
1 営 業 費 用	53,204	53,204	0
2 営 業 外 費 用	27,710	27,710	0
3 建 設 改 良 費	8,874	8,874	0
4 他会計からの借入金償還金	60,000	60,000	0
5 預 り 金	120	120	0
6 前 年 度 未 払 金	0	0	0
7 前 年 度 未 払 費 用	0	0	0
差 引	428,915	548,915	120,000

平成22年度鳥取県営埋立事業予定損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
営業費用	301,885	営業収益	354,797
(1) 土地売却原価	234,324	(1) 土地売却収益	267,805
(2) 一般管理費	34,457	(2) その他営業収益	86,992
(3) 企業誘致費	20,224		
(4) 附帯施設運営費	12,880		
		営業利益	52,912
営業外費用	27,710	営業外収益	45,565
(1) 支払利息	78	(1) 受取利息及び配当金	1,685
(2) 雑支出	27,632	(2) 雑収益	43,880
		経常収益	70,767
特別利益	0	特別損失	0
		当年度純利益	70,767
		前年度繰越欠損金	55,113
		当年度未処分利益剰余金	15,654

平成22年度鳥取県営埋立事業予定貸借対照表

(平成23年3月31日)

(単位:千円)

資産の部			負債の部		
1 固定資産			5 固定負債		
(1) 有形固定資産			(1) 他会計借入金	0	
イ 土地		36,312	(2) 引当金	11,109	
ロ 建物	147,526		(3) その他固定負債	540,279	
減価償却累計額	34,639	112,887	固定負債合計	551,388	
ハ 構築物	34,271		6 流動負債		
減価償却累計額	26,439	7,832	(1) 未払金		
ニ 機械及び装置	135,075		(2) 未払費用		
減価償却累計額	101,925	33,150	(3) 前受金	120,000	
ホ 工具・器具及び備品	751		(4) 繰延年賦売却益		
減価償却累計額	591	160	(5) 長期契約保証金	350,529	
有形固定資産合計		190,341	(6) その他流動負債	555	
(2) 無形固定資産			流動負債合計	471,084	
イ 水道施設利用権		75	負債合計	1,022,472	
無形固定資産合計		75	資本の部		
固定資産合計		190,416	7 資本金		
2 土地造成			(1) 自己資本金	3,267,761	
(1) 完成土地			(2) 借入資本金		
イ 境港外港昭和地区土地		52,737	イ 他会計借入金	7,932,696	
ロ 米子港旗ヶ崎地区土地		88,029	借入資本金合計	7,932,696	
ハ 境港外港竹内地区土地		6,765,154	資本金合計	11,200,457	
ニ 返還土地		1,582,861	8 剰余金		
完成土地合計		8,488,781	(1) 資本剰余金		
(2) 未成土地			イ 受贈財産評価額	49,300	
イ 米子崎津地区事業費		4,232,105	ロ 国庫補助金	954,862	
未成土地合計		4,232,105	資本剰余金合計	1,004,162	
土地造成合計		12,720,886	(2) 利益剰余金		
3 流動資産			イ 利益積立金	411,849	
(1) 現金預金		548,915	ロ 当年度未処分利益剰余金	70,767	
(2) 未収金		152,840	利益剰余金合計	482,616	
(3) 繰延年賦売却損		96,650	剰余金合計	1,486,778	
(4) その他流動資産			資本合計	12,687,235	
流動資産合計		798,405	負債資本合計	13,709,707	
4 繰延勘定					
(1) 開発費		0			
繰延勘定合計		0			
資産合計		13,709,707			

〈参考資料〉

みなと温泉館の売却候補者の選定について

みなと温泉館の売却について、みなと温泉館売却候補者選定委員会（以下「選定委員会」という。）における審査の結果、次のとおり売却候補者を選定しました。

1 売却候補者

候補者	所在地	代表者
株式会社かいけ	米子市上福原4丁目5番地31号	代表取締役 新開 雄一

[候補者の概要]

会社設立	平成20年7月1日 ※ 皆生温泉土地(株)から事業分割、新会社設立
資本金	900万円
従業員数	71名(平成22年5月現在)
主な業務	なかやま温泉ゆーゆー倶楽部「ナスパル」、大山町総合文化スポーツセンター、百々温泉の湯「めぐみ荘」(津山市)の指定管理業務など

2 売却物件の概要

所在地	鳥取県境港市竹内団地255-5及び279
敷地面積	(温泉館敷地)3,393.65㎡ (泉源部分)626.19㎡
建物面積	(温泉館)420.75㎡ (ボイラー室)24.16㎡ 計 444.91㎡
構造	鉄骨造平屋建て
完成年度	平成9年度
利用規制等	都市計画法による「工業地域」、境港市特別業務地区建築規制条例に定める区域(ホテル・パチンコ屋・個室付浴場などは不可)

3 売却金額

みなと温泉館の土地、建物・設備、温泉権を一括して売却する。(単位：千円)

区分	帳簿価格	売却予定価格	売却金額	備 考
土 地	54,482	42,990	52,836	売却予定価格は、不動産鑑定意見書から算定。建物・設備価格は、消費税込み。
建 物 ・ 設 備	153,453	54,644	67,164	
合 計	207,935	97,634	120,000	

4 公募の経過

- (1) 募集期間 平成22年3月19日(金)から4月23日(金)まで
 (2) 応募者(受付順) 4月23日(金) 株式会社かいけ

5 選定委員会による審査結果(面接審査及び価格審査)

みなと温泉館の売却候補者の選定に当たっては、選定委員会で定めた選定基準に基づく事業計画の評価と購入価格の評価を総合して評価し、選定を行った。

- (1) 開催日時 5月10日(月)午後1時30分～3時30分
 (2) 開催場所 米子コンベンションセンター
 (3) 選定委員

氏 名(敬称略)	役 職
奈良 武(委員長)	鳥取環境大学環境情報学部 教授
正田 真弓(副委員長)	(財)鳥取県生活衛生営業指導センター 理事長
角 淳司	角淳司税理士事務所 税理士
米村 昭子	施設利用者代表
伊達 憲太郎	境港市市民生活部 次長(元産業環境部貿易観光課長)

(4) 評価の結果

区分	配点	(株) かいけの採点	摘要
事業計画評価	40点	28点	県内事業者のため10点加算
購入価格評価	60点	60点	最高購入提示価格のため満点
合計	100点	88点	

ア 事業計画採点状況

項目	選定基準	配点	委員会の採点
管理運営	管理基準、サービス提供内容	5	3
	施設設備の維持、衛生管理及び緊急時の対応・体制	5	3
	周辺施設との連携	5	4
	組織及び職員の配置(地元雇用)	5	3
財政基盤・ 経営基盤	経営計画(合理性、具体性)	5	3
	経営安定能力	5	2
地域への配慮	県内事業者	10	10
合計		40	28

イ 購入価格の採点

60点 × 提示価格 120,000,000 円 / 最高提示価格 120,000,000 円 = 60点

ウ 書類審査・審査資格

納税の滞納、一般競争入札の参加資格の取り消し、労働安全衛生法等による行政処分、役員の暴力団の関与がないことなど、購入資格要件を満たしていると認められる。

(5) 委員会の質問に対する応募者の主な説明

- みなと温泉館は、指定管理にも応募したことがあり関心があった。家族風呂を売りにした事業を展開したい。他県の施設の家族風呂は、2～3時間待ちで盛況である。家族風呂は、駐車場の土手付近に増設し、渡り廊下でつなぐ。
- 夢みなとタワーや鬼太郎ロードなど周辺施設との協力イベントは、お金出しても参加したい。また、メディアやHPを活用して、観光客向けの情報発信も連携して取り組みたい。
- 深夜割引、女性割引、ポイント制度などのサービスも考えている。風呂の日イベントやGW、夏休み等の季節イベントも実施する。
- 社会貢献や身体障がい者の方の料金の取り扱いは、検討したい。地震等の際には、避難場所の提供、風呂無料提供など考えたい。
- 資金調達は、金融機関に対し事業計画や経営状況を説明し、内諾を得ている。

(6) 審査委員意見

- 提案内容は標準的であるが、家族風呂の新設、リニューアルによる利用客の増加を期待できる。
- 親会社との関連性が評価できる。
- 各事業部(ビルメンテナンス業、パブリックビジネス業)の管理会計を取り入れているとの説明があり評価できる。
- 買取資金は全額を金融機関からの借入金に依存する予定であるが、本件借入については次の二点に懸念が残る。その一つは、融資が実行されるかであるが、このことについては金融機関に事前に説明し前向きな回答を得ているとの説明があった。もう一つは、借入金増加による支払利息の増加が見込まれるため、慎重な資金管理と損益管理が望まれる。

6 売却候補者の事業計画の主な概要

区 分	計 画 概 要	現 状
営業時間	10:00～22:00	12:00～22:00 ※ 土、日、祝日、繁忙期は、10:00～
休館日	年中無休 ※ メンテナンスによる休館有	毎月第2水曜日 ※ 8月は休館日なし
利用料金	大人（高校生以上） 500円 子供（小中学生） 250円 小学生未満 無 料 身体障がい者、介護者 検 討 中 家族風呂（10室増設） 1,800円 回数券大人11枚綴 5,000円 回数券小人11枚綴 2,500円	大人（高校生以上） 500円 子供（小中学生） 250円 小学生未満 無 料 身体障がい者、介護者 無 料 回数券大人11枚綴 5,000円
イベント その他	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月イベントや季節毎のイベント実施 ・サービス向上委員会の設置 (接客サービスや対応スピードの充実) ・施設目的、利用者のニーズを踏まえた利用促進 ・観光施設としてのサービス提供 ・温泉館のリニューアルオープン（5月） ・家族風呂のオープン（7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカードの発行 ・毎月26日「ふるの日」 （料金1割引、食事券プレゼント、枇杷、柿の葉等の風呂） ・季節毎ごとのイベントの開催 ・利用者との意見交換会の開催（年2回）

7 売買契約及び施設譲渡の時期

仮契約書締結	5月17日（月） 〈主な契約内容〉 ○ 売買代金は、120,000,000円（消費税含む） ○ 契約保証金は、売買代金の10%以上 ○ 売買物件の所有権は、平成23年4月1日に移転 ○ 平成26年3月31日までの間（3年間）、事業計画の内容に沿って浴場業の用途に使用すること（施設改修の休館は可）、第三者への譲渡・貸付禁止 ○ 本契約不履行による違約金（売買代金の10%）、損害賠償金の請求、など
本契約締結	6月23日（水）※6月議会議決日 仮契約は本契約に移行（仮契約と本契約は同一内容）
契約保証金	7月上旬（購入代金の10%以上）
売却代金	平成23年3月下旬（全額）
施設譲渡	平成23年4月1日（金）

<p>条 例 名 等</p>	<p>鳥取県みなと温泉館の管理に関する条例の廃止について</p>
<p>提 出 理 由 及 び 概 要</p>	<p>1 提出理由 みなと温泉館を民間事業者に譲渡することに伴い、その管理に関する事項について定めた条例を廃止する。</p> <p>2 概要 (1) 鳥取県みなと温泉館の管理に関する条例は、廃止する。 (2) 施行期日等 ア 施行期日は、平成23年4月1日とする。 イ 鳥取県営企業の設置等に関する条例について、所要の規定の整備を行う。</p>

鳥取県みなと温泉館の管理に関する条例を廃止する条例

鳥取県みなと温泉館の管理に関する条例（平成16年鳥取県条例第69号）は、廃止する。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。

（鳥取県営企業の設置等に関する条例の一部改正）

2 鳥取県営企業の設置等に関する条例（昭和41年鳥取県条例第37号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄中項の表示に下線が引かれた項（以下「削除項」という。）を削る。

次の表の改正前の欄中下線が引かれた部分（削除項を除く。）を削る。

改正後	改正前				
<p>第6条 埋立事業は、工業生産基盤の整備強化を図るため、工業用地等の造成及び分譲を能率的かつ経済的に行う。</p> <p>2 略</p>	<p>第6条 埋立事業は、工業生産基盤の整備強化を図るため、工業用地等の造成及び分譲を能率的かつ経済的に行うとともに、<u>これに附帯して温泉施設の設置及びその管理を行う。</u></p> <p>2 略</p> <p>3 <u>埋立事業に附帯する事業の用に供する温泉施設の名称及び位置は、次のとおりとする。</u></p> <table border="1" data-bbox="831 987 1161 1070"> <thead> <tr> <th>施設の名称</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みなと温泉館</td> <td>境港市</td> </tr> </tbody> </table>	施設の名称	位置	みなと温泉館	境港市
施設の名称	位置				
みなと温泉館	境港市				

平成 21 年度鳥取県電氣事業会計継続費繰越計算書

款	項	事業名	継続費の総額	平成 21 年度継続費予算現額			支払義務発生額	残額	翌年度繰越額	翌年度繰越額に係る財源内訳			翌年度繰越額に 係る繰越を要するた な即資産の購入 入限度額
				予算計上額	前年度繰越額	計				企業債	建設助成金	その他	
1	資本的支出 1	建設改良費		76,463,000		76,463,000	27,080,000	49,383,000	49,383,000	35,000,000	14,375,000	8,000	
		袋川養電所建設事業の内外水陸建屋工事及び監理委託	194,555,000										

平成 21 年度鳥取県営電気事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額を繰越すに要する限度額	説明
						企業債	建設助成金	その他			
1	資本的支出	1 建設改良費									
		県営発電所屋外特別 高圧変流器及び保護 継電器更新工事	29,126,000	22,499,400	5,220,000		5,220,000	1,406,600			受注業者の都合により、年度内の支払義務が生じなかったため。

地方公営企業法第26条第2項ただし書の規定による事故繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額を即座に要するに資する限度	説明
						企業債	建設助成金	その他			
1 電気事業費	1 営業費用	中津ダム浚渫工事	55,650,000	40,540,000	15,110,000	円	円	円	円	円	11月の多雨により浚渫土の含水比が高くなり、改良材の選定及び施工方法の検討に不測の日報を要したため。

平成21年度鳥取県営工業用水道事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額を即入額に係る購入資産の限度	説明
						企業債	建設助成金	その他			
1	資本的支出1	建設改良費									
		鳥取地区工業用水道整備事業	536,900,000	447,152,085	59,115,098	41,000,000	12,068,829	6,046,269	30,632,817		送・配水管布設工事において、水道管理者と協議の上で施工していたが、想定外の位置で埋設物が確認され、布設工法の見直しに不測の日数を要したため。

